

# 道路構成・沿道状況が自動車走行速度に与える影響

社会システム計画学研究室2008年度卒業研究 水嶋晋作

## 研究の背景

安心して暮らせる生活空間を創造

- ・自動車の走行速度の抑制
- ・通過交通の削減 が重要



ハンプ

それを実現すべくコミュニティゾーン等の事業がなされている。しかし...

非常に効果的であるものの、**騒音や振動などの副作用も**

そもそも住宅地内の道路などでは...

- ドライバーは頻繁にスピードメータを確かめながら運転
- 街路全体から受ける雰囲気からその道路に適していると感じる走行速度で運転

## 研究の目的

街路空間の空間要素とそこを走る自動車の走行速度の関係を明らかにし、

将来的にドライバーが**無意識のうちに選択する走行速度をコントロールする**街路空間について検討するための基礎的な知見を得る

## 調査の概要

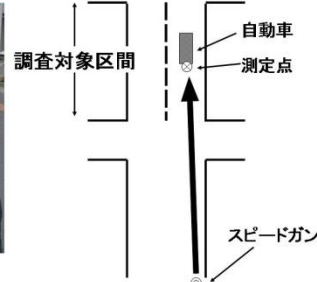
様々な種類の既存道路を走行する自動車に対して、**スピードガン**を用いて自動車走行速度を測定



スピードガン



計測の様子

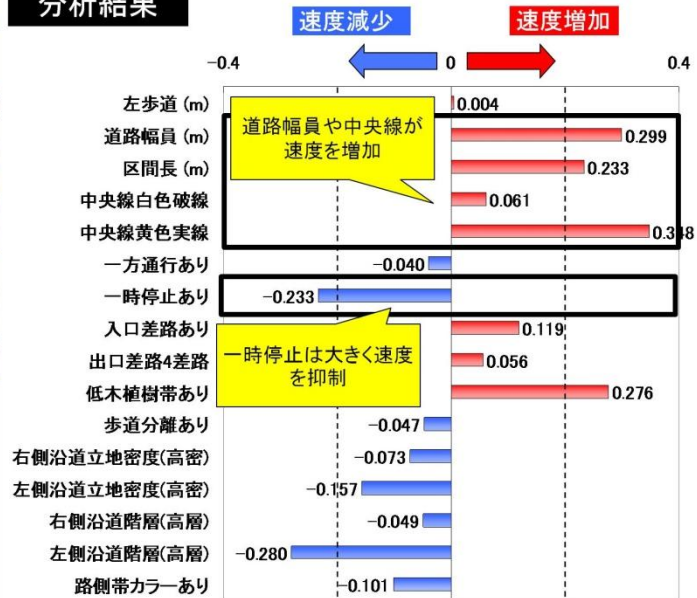


- 道路幅員、中央線の有無、歩道の有無、沿道建物の状況などを勘案
- 計測路線は主に岡山市内の街路で、**合計54路線**で計測
- 全体で**1906台**(各路線約35台)の乗用車の走行速度を計測



## 調査対象地点

## 分析結果



## 結論

自動車の走行速度を**実測**することにより、**速度と街路空間要素の関係**を分析

### 速度を増加させる要素

道路幅員、区間長、中央線黄色実線、低木植樹帯

### 速度を減少させる要素

一時停止、左側沿道階層

## 分析



どの要素がどの程度自動車走行に影響するかを分析